

ニューズレター雪氷北信越

No.41

平成7年1月10日

(社)日本雪氷学会北信越支部発行

目次

見学会・講演会・学習会報告／学習会・技術部会・講習会の案内／研究会の案内／支部賞／その他

見学会

富山・石川地区見学会報告

富山・石川地区の「^{かけはし}梯川、石川海岸」見学会が12月1日(木)に6名の参加者で建設省金沢工事事務所の御案内により行われた。なお、この見学会は今までは8月上旬に実施していたのであるが、本年は去る9月26日(月)から30日(金)まで全国大会が金沢大学工学部で開催され、最後の30日(金)には見学会が行われたこともあり延期されていた。そして、準備の関係などもあり師走に入って初日の実施となったが、年末の多忙期で参加者の少ないのが残念であった。

JR金沢駅を10:00に出発し、小松市内の梯川を横断して新しく架設された梯大橋を渡りながら、この橋及び大工事となっている前川排水機場を見学し、自然植生の豊かな梯川を下って河口の安宅の関で午前中の予定が終了した。

午後は石川海岸なぎさリフレッシュ事業が昨年度から行われている美川海岸(手取川右岸)及びC. C. Z. (Coastal Community Zone)で有名な松任海岸を見学した。この松任C. C. Z. は多様なレクリエーションニーズに応え、憩いとうるおいある新しい海浜空間を創造するたを認め、昭和62年に全国初のC. C. Z. (海辺のふれあいゾーン)認定を受け、建設省、石川県、松任市、日本道路公団等が一体となって整備されているものであるが、その規模の大きさと魅力あふれる海浜リゾートが形成されているのには感心した。そして、金沢市近郊のビール工場を最後に見学して、予定通り16:30頃JR金沢駅に到着し、解散となった。

天気は晴天で非常に暖かく、大変有意義な見学会となったが、この紙面を借りて、建設省金沢工事事務所の皆様には厚く御礼申し上げる次第です。

(高瀬理事 記)

見学会に参加して

見学当日の平成6年12月1日は小春日和さながらの天候に恵まれた。主たる見学先は小松市河口付近で梯川、前川の合流する地点と北陸自動車道沿いの徳光PAから小松ICに至る区間で松任市、美川町、根上町および小松市郊外の海岸地帯にわたる石川海岸である。まず、主流の梯川、支流の前川の流域で洪水が出現すると、合流地点では主流の水位が支流の水位より高くなつて支流に逆流し甚大な浸水被害を与え、そこで、主流河床の幅と支流の排水で対応されていた。主流の幅には新たな築堤とこれに伴う大型の橋梁が建設され、洪水の処置にはガスタービン駆動の立軸ポンプ4台による由である。次いで石川海岸については、高潮、侵食、傾斜に備えての保全対策を見直して人工リーフによる砂浜の回復、元、傾斜の緩い護岸による海岸のアクセシブルな確保が活発に進められていた。見学コースの最終は日本海側初のキリンのビール工場見学である。試飲の冷えたビールの旨さは格別で一日の疲れが霧散したようである。参加人員はやむをえない事情のため6名と淋しかったが、極めて有意義であった。

(日本雪氷学会員 元富山大学勤務 中谷秀夫 記)

講演会

講演会「雪と植栽について」の報告

上記のテーマでシンポジウム形式の講演会が開催された。

期 日：平成6年12月2日(金)13:30～16:00

場 所：福井県総合グリーンセンター 福井県坂井郡丸岡町楽間15

主 催：福井雪害対策研究会／福井県雪害対策技術センター

／(社)日本雪氷学会北信越支部

後 援：(社)福井県造園組合／(社)福井県造園協会／福井県雪技術研究会

参加者：福井県土木部、農林水産部担当技術者、造園業関係者 34名

開会の挨拶 本多義明(福井大学教授・福井雪害対策研究会会長)

司会 前田博司(福井工業大学教授)

1.積雪地域の街路樹の植栽について 福井県立大学助教授 野田敏秀氏

我が国の街路樹の歴史からはじまり、街路樹の意義と功罪、街路樹ベスト10、街路樹の樹種選定理由、街路樹の条件、植栽手法、維持管理等についてのきめ細かなレクチャーがあった。歴史的には、758年東大寺僧普照が城外の道路の両側に果樹を植栽することを朝廷に建白し、759年太政官符をもって畿内七道諸国駅道の両側に果樹を植栽することにした。雪との関係では雪の中の目印、吹雪の防除として重要なことが認識されていた。

2.樹木の立場からみた植栽について 福井県造園組合理事長 井土新平氏

造園者としてより樹木医の立場から、「街路樹は叫ぶ」として、植栽の計画、植樹機等の設計、剪定等について、木の側に立った配慮を訴えた。

3.植樹と冬の景観について 三国土木事務所 専門員 石橋晋一氏

これまで担当した公園の計画や現場施工において、子供の雪遊びなどを考えてきた事例紹介、福井県内で植えられている樹種の実態の報告があり、ついで、公園計画において、景観との関係等、雪との接点での課題が残されていることの話があった。

(杉森理事 記)

学習会

富山地区学習会「冬期降水のモニタリングと人工酸性雪結晶内の気泡」及び「富山県内の酸性雪調査結果」の報告

学習会に題目は2題。最初の題目で富山大修士の木戸瑞佳氏が、後の題で同大学教授の対馬勝年氏が講演した。前者はさらに大きく二つに分かれ、前半は冬期降水の酸性物質の輸送を気圧配置や風系などを考えて検討したもので、後半は硫酸、硝酸などを含む酸性物質の水溶液を超音波加湿器で微小水滴にして霜を作り、その際の微小水滴の大きさや霜にできる気泡、酸性度などを調べたものである。前半は、酸性物質の遠距離および近距離輸送に関連し、後半は雪の酸性化の機構をはじめとして、雪の成長における過冷却水滴の役割、雪結晶中の気泡などの解明をめざした意欲的な研究で大変興味深かった。

後者は、富山県内各所にある、酸性雪モニターからの報告をまとめたもので、200例もある酸性度の分布を網羅している。他の場所と比べ特異なpHを示すところや、高速道路の影響など、豊富な事例が報告された。近く、報告書が出されるとのことである。

11月27日(日)14:00～16:00、富山市科学文化センターで行われ、参加者は23名であった。

(石坂幹事 記)

長野地区では、長野市の信州大学教育学部を会場として、12月3日の14時30分から16時30分にかけて学習会が開催された。当日は南極観測第18次越冬隊員（気象研究部門）として1978年11月～1978年3月、また、第33次越冬隊員（気象研究部門）として1991年11月～1993年3月と、昭和基地での2度にわたる越冬生活で研究観測に従事された経歴を持つ岩井邦中会員（信州大）より、「南極の雪と氷」と題した報告があり、オングル島周辺の種々の雪氷現象やビデオを用いたエアロゾルの説明をはじめ、昭和基地の施設や越冬生活の今昔の比較など多数のスライドによる紹介がなされた。

参加者は19名。長野地区では、これが初の学習会であったが、会員外の参加者の方が多数を占め、全体の会員数の少ない長野地区としては盛会であったといえよう。

（小林詢理事 記）

講演会

「カナダの地球規模環境変動研究について」の報告

新潟大学を訪問されたカナダNRCの工藤章博士に、長崎原爆と年輪の関係、フランスのCO₂増加実験、北極の環境変動、ハワイの天文電波望遠鏡による研究について、という話題で講演していただきました。最近の微量放射能分析技術の進歩により、長崎原爆で放出されたプルトニウムが長崎周辺だけでなく、遠く離れた場所での年輪解析や北極のアイスコア解析によっても研究できるようになったこと、CO₂濃度が増加すると植物の成長が大きく加速されること、また、今まで宇宙を観測するためにだけ使用されていたハワイの天文電波望遠鏡を用いて、初めて地球上空のCO₂濃度を観測した結果など、興味深い研究成果を聞かせていただきました。質問も多数あり、大盛会のうちに講演会が終了しました。

期日：平成6年12月1日（木）14:00～16:00

場所：新潟大学積雪地域災害研究センター会議室（3F）

主催：新潟大学・長岡雪氷防災実験研究所

後援：（社）日本雪氷学会北信越支部

参加者：45名

（長岡雪氷防災実験研究所 東久美子 記）

学習会・技術部会

「新潟地区学習会」及び

「雪崩の力学研究技術部会」のお知らせ

話題：「カナダにおける雪崩対策事情」

講師：和泉 薫氏（新潟大学・積雪地域災害研究センター）

日時：平成7年3月3日（金）14:45～15:45

（バス・長岡駅発14:05～技大着14:33）

場所：長岡技術科学大学・機械建設棟8階会議室

内容：和泉氏は、一昨年9月から昨年5月までの間、文部省在外研究員としてカナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学において雪崩の研究に従事してこられました。そこで、カナダにおける雪崩対策の現状や雪崩講習会等の様子についてのお話をお願いいたしました。多数の方々参加をお待ちしております。
なお、学習会終了後、「雪崩の力学研究技術部会」を開催いたしますので、部会員の方はこちらの方にもご出席下さい。

連絡先：遠藤八十一（森林総研・十日町） TEL & FAX 0257-52-2360

学習会

新潟地区学習会のお知らせ

積雪会（会長：宮内信之助 長岡技術科学大学教授）との共催で下記のとおり学習会を開催します。

記

話題：日中雪氷学術交流訪中団学術交流報告

日時：平成7年2月10日（金）14:45～16:00

場所：長岡技術科学大学 機械系4階会議室

問合先：田村盛彰（小千谷高校）

TEL.0258-83-2262 FAX.0258-82-0646

学習会

石川地区学習会のお知らせ

日時：平成7年2月13日（月）15:30～17:00

場所：金沢大学工学部 第一会議室
（金沢市小立野 2丁目40番20号）

講師：竹井 巖（北陸大学）

演題：雪氷利用における氷文化圏と雪文化圏

問合先：村本健一郎（金沢大学工学部）

TEL. 0762-34-4890 FAX.0762-34-4900

講習会

富山地区 積雪観測講習会のお知らせ

富山地区では、下記の日程で積雪観測講習会を開催します。ふるってご参加ください。

日時：平成7年1月29日（日） 10:00～15:00

場所：富山県林業技術センター及び国立立山少年自然の家周辺を予定
（富山県立山町吉峰及び立山町芦峯寺）
※積雪の状況により変更することがあります。

講師：川田邦夫（富山大学）、飯田 肇（黒部市吉田科学館）

内容：1)講義・積雪観測の手法についての講義を室内で行います。

また、雪氷についての話題提供も予定しています。

2)屋外講習会・実際に雪に触れながら、積雪観測法についての実技講習を行います。

申込方法：下記に、1月25日（水）までに、電話またはFAXでお申込ください。申込された方に後日詳しい日程、集合場所、持ち物等についてお知らせいたします。

申込及び問合先：

川田邦夫 富山大学理学部地球科学科
〒930 富山県富山市五福3190
TEL.0764-41-1271(内線2549) FAX.0764-41-2972

飯田 肇 黒部市吉田科学館
〒938 富山県黒部市吉田574-1
TEL.0765-57-0610 FAX.0765-57-0630

参加費：テキスト代として1,000円（当日徴収いたします）。

(1)講習題目：積雪調査法

(2)日時：平成7年2月4日(土) 9:00～15:30

(3)会場：〒940 長岡市栢吉町前山167-16

科学技術庁 長岡雪氷防災実験研究所
(積雪が少ない場合は実習地を変更することがあります。その際は幹事から参加者へ直接連絡いたします。)

(4)講師：遠藤八十一氏(農林水産省森林総研)、和泉 薫氏(新潟大学災害研)、納口恭明氏・五十嵐高志氏(長岡雪氷防災研)、佐藤和秀氏(長岡高専)

(5)日程と講習内容：

AM 9:00～ 9:20	受付
AM 9:30～10:30	長岡雪氷防災実験研究所の紹介(所員)
AM10:40～12:00	講義(積雪観測法の概要)
PM12:00～ 1:00	昼食
PM 1:00～ 3:30	野外実習(積雪の層構造と雪質の観察、雪温・密度・積雪相当水量などの測定、雪の含水率の測定)

(6)定員：16名(先着順)。申し込みが少ない場合には中止する事があります。

(7)申し込み締め切り日：1月24日(火)までに、申込書に、所定事項を記入し、郵送またはFAXにて下記にご連絡ください。

(8)送付先：〒947 小千谷市舞生乙 小千谷高校内 田村盛彰
TEL.0258-83-2262 FAX.0258-82-0646
自宅TEL/FAX. 0258-33-3820

(9)参加費：テキスト、実習材料等の実費を含みます。
正会員・団体会員・学生＝1,000円、非会員＝2,000円
(講習当日に徴収いたします)

※ 申し込み受付け後、改めて案内をお届けいたします。

※ 講習会終了後、後日修了証を交付いたします。

(講習会幹事 田村・佐藤)

積雪調査法講習会の申込書

氏名： _____ (正会員、団体会員、学生、非会員)
○で囲んでください。

所属： _____

連絡先：住所/〒 _____

電話番号： _____ , FAX: _____

第19回雪氷防災研究会・第9回雪氷防災研究連絡会
－防災科学技術研究所 長岡雪氷防災実験研究所 開所30周年記念－

並びに

第8回新潟県雪対策研究会 の開催について

標記 雪氷防災研究会・雪氷防災研究連絡会並びに新潟県雪対策研究会が下記のとおり開催されます。

記

日時：平成7年2月21日（火）10:00～16:30

会場：新潟県庁 講堂（西回廊2F）
〒950 新潟市新光町4番地1 TEL 025-285-5511

主催：科学技術庁 防災科学技術研究所 長岡雪氷防災実験研究所
新潟県

プログラム：

10:00-10:10 開 会
雪氷防災研究会・新潟県雪対策研究会

< 特別講演 >

10:10-11:05 (1)21世紀の地球科学
－特に地球環境と人類の生存について－
日本大学文理学部 教授 萩原幸男

11:05-12:00 (2)これからの雪国と雪氷科学
－地球温暖化と寡雪の中で－
防災科学技術研究所長岡雪氷防災実験研究所
所長 中村 勉

13:00-16:30 雪氷防災研究連絡会・新潟県雪対策研究会
(雪氷に関する調査研究概要の発表及び意見交換)

閉 会

* 参加は無料です。詳しくは下記までお問い合わせください。

長岡雪氷防災実験研究所 納口恭明・小林俊市

〒940 長岡市栖吉町前山187-16
TEL. 0258-35-7522 FAX. 0258-35-0020

案内

雪氷観察会の開催について

雪氷の専門家以外の一一般の市民を対象として、雪に対するいろいろな疑問を解くための雪氷観察会が長岡市立科学博物館の主催で下記のとおり開催されます。

記

日時：平成7年2月19日（日）13:30～16:30
（荒天でも実施しますが、積雪のない場合は延期します）

会場：長岡雪氷防災実験研究所周辺

対象：小学生～一般

問合せ：長岡市立科学博物館 TEL. 0258-35-0184

案内

各支部発行の刊行物案内（最新情報）

北海道支部

「北海道の雪氷 13号」（1994年） 500

申込は下記へ

〒060 札幌市北区北19条西8丁目
北海道大学低温科学研究所 石川 信敬
TEL.011-716-2111(内線6892) FAX.011-716-5698

東北支部

「東北の雪と生活 9号」（1994年） 1,500

申込は下記へ

〒020 盛岡市上田4-3-5
岩手大学工学部建設環境工学科 平山 健一
TEL.0196-23-5171(内線2642) FAX.0196-52-4069

北信越支部

「雪氷北信越 13号」（1994年） 1,000

申込は下記へ

〒940 長岡市栖吉町前山187-16
長岡雪氷防災実験研究所 納口 恭明
TEL.0258-35-7522 FAX.0258-35-0020

関東・中部・西日本支部

「関東・中部・西日本支部ニュース No.27」 200
(1995年1月)

申込は下記へ

〒192-03 八王子市南大沢1-1
東京都立大学理学部地理学教室 鈴木 啓助
TEL.0426-77-2595 FAX.0426-77-2589

支部賞

1995年度支部賞授賞候補者推薦の申出について

1995年度支部賞授賞候補者の推薦には、支部の理事および評議員が、下記の項目を記載して4月10日までに書類を支部事務局へ提出することとなっております。

候補者にお心当たりの方は、期限に間に合うようにお近くの理事あるいは評議員へお申し出下さい。

記

- (1) 雪氷技術賞、大沼賞、雪氷功労賞の区別。
- (2) 推薦者の氏名、所属、職名。
- (3) 授賞候補者の氏名(または団体名)、所属、職名。
- (4) 推薦理由書(〇〇〇の功績などの授賞表題を掲げ、800字ほどにまとめたもの)。
- (5) 上記の理由書を証明する関係書類があれば添付する。

案内

雪遊び体験イベント「SNOW JAM 2001」
のお知らせ

日時：平成7年2月11日(土)～12日(日)
場所：長野県飯山市 城北グランド
主催：国土庁
協力：長野県飯山市
プログラム：
2/11(土) 雪遊び事例報告 13:30～14:30
(国際雪合戦、雪上野球、雪中キャンプ等)
雪遊び体験 13:30～16:30
(雪合戦大会、雪中野球大会、雪中キャンプ講座)
2/12(日) 観雪運動会 10:00～12:00

話題

雪の字のつく苗字はいくつあるか？

現存の日本人の「姓氏」(苗字)の総件数約13万の中で「雪」の字のつくものが80件あった。そのうち、雪の字が上につくものが57件、下につくものが18件、また「雪」一字のみで読み方の異なるものが5件あり、合計80件となった。紙面の都合で全部を御紹介できないが、珍しい読み方の例を下記に示す。

雪(キヨシ、ススキ、ススギ、スズキ、ユキ)
雪母谷(ウバガタニ)
雪間荘(セツカンソウ)
雪紹(セツタン)

* 出典：日本姓氏大辞典(表音編) - 角川書店刊 -
(小林幹事 記)

その他

『ニューズレター雪氷北信越』について

ニューズレターに関するお問い合わせは
長岡雪氷防災実験研究所 小林俊市

TEL.0258-35-7522
FAX.0258-35-0020

までお願いします。